

この様式は、実務経験により専任技術者になる場合等に必要です。

実務経験証明書

日付を記入する。

(用紙A4)

下記の者は、内装仕上げ 工事に關し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

証明する実務経験の業種を必ず記入すること

証明者は、証明しようとする期間、被証明者が在籍していた、法人の代表者又は個人の事業主
 法人の場合は、登記簿上の住所・法人名・代表者役職・代表者氏名を記入
 個人の場合は、営業所の住所・屋号・役職(事業主)・事業主氏名を記入

押印不要 (R3.1.1から)

証明者の立場から見た被証明者との関係を記入する。(例: 役員、社員、従業員など)

証 明 者

住民票の漢字に合わせることを

被証明者との関係

記

技術者の氏名	○○ △△	生年月日	平成○○年△△月□□日	使用された期間	平成5年 4月から
使用者の商号又は名	(株)○○工業	実務経験を得た当時の商号または名称を記入する。			平成30年 1月まで
職名	実 務 経 験 の 内 容			実 務 経 験 年 数	
工事係員	○○リゾートマンションインテリア工事 (普通作業員)			H20年 6月から H20年 11月まで	
工事係員	○○カントリークラブハウスインテリア工事 (品質管理担当)			H21年 2月から H21年 5月まで	
工事係員	□□リゾートマンションインテリア工事 (普通作業員)			H22年 5月から H22年 10月まで	
工事係員	××カントリークラブハウスインテリア工事 (品質管理担当)			H25年 4月から H25年 10月まで	
工事係長	○□カントリークラブハウスインテリア工事 (品質管理担当)			H25年 11月から H26年 3月まで	
工事係長	県立図書館防音工事 (品質管理担当)			H26年 7月から H26年 11月まで	
工事係長	職員住宅内装間仕切り工事 (品質管理担当)			H27年 6月から H27年 12月まで	
工事課長	△△リゾートマンションインテリア工事 (品質管理担当)			H28年 1月から H28年 6月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
使用者の証明を得ることができない場合はその理由	使用者と証明者が異なる場合は、その理由を記入する。 例) 平成○○年○○法人解散のため 平成○○年○月事業主死亡のため			年 月から 年 月まで	
				合計 満 3年 10月	

実務経験により専任技術者になる場合の確認書類について
 (1) 証明者が、証明期間及び対象業種において建設業許可を有している場合
 建設業許可通知書の写し
 (2) 証明者が、証明期間及び対象業種において建設業許可を有していない場合
 契約書、請書、注文書、請求書等の写し(年3件程度)
 ※契約書等が提示できない場合に限り、発注証明書でも可(発注者の押印が必要)
 ※当該経験期間の雇用関係(常勤性)が確認できる書面の提示も必要です。

当該ページの実務経験年数の合計を記入する。

記載要領

- この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が所属していた部課名等を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した主な工事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。